※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０８

令和８年度　美術科

教科	芸術	科目	造形演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術の中でも、生活に密着したデザインや造形に絞って課題を設定します。日常生活を楽しく美しく彩る作品作りに取り組みましょう。
・美術ⅠⅡを履修していない生徒も選択できますので、専門的な内容や技術は問いません。粘り強く制作する態度、丁寧な作業を望みます。
・美術系進路希望者向けに、デッサンや色彩など基礎訓練的な課題にも取り組みます。
・鑑賞の授業を行います。各課題に関連した作品の鑑賞や生徒同士で作品を批評し合います。将来、美術館などを訪れる機会を想定し、作品を鑑賞する目を養っておきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術・工芸文化について理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
・生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術・工芸文化を創造的に表すことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・造形の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術・工芸を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・創造的なデザインや造形に必要な技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し、表現している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術や工芸の働きなどについて考えるとともに、思いや願いなどから発想や構想を練ったり、生活に密着したデザインについて見方や感じ方を深めたりしている。	美術や工芸と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	【絵画】	オリエンテーション （自己紹介カードの作成） イラストと文章で自分を紹介するカードを作成する。	c:イラストや文章を用いて新しく出会った仲間に向け、積極的に自分自身をアピールしている。			作品
	【絵画】	右脳で描くワーク 美術の基礎的な訓練として、ワークに取り組む。 ・逆さ絵写し ・ルビンの壺 ・デッサンスケールを使った手のデッサン	a: 美術の基礎力を養うために、主体的に課題に取り組み、基礎技術を身につけている。 c:粘り強く主体的に取り組む態度があり、表現技術を向上させようと努力している。	ワークシート		ワークシート 授業観察
	【デザイン】【鑑賞】	丸で描くキャラクター 1　身の回りにあるキャラクターには、丸で構成されているものがたくさんあることを知る。 2　コンパスを使って様々な大きさの丸を構成し、それに肉付けするなどしてオリジナルキャラクターをデザインする。 3　色鉛筆の使い方を学んだ後、キャラクターを色鉛筆で着色する。 4　キャラクターの設定を考える。 5　互いの作品を鑑賞する	a: 世界的に有名なキャラクターについて、描く際に丸がどのように生かされているかを理解している。 色鉛筆の特性を知り、混色やグラデーション、濃淡などの表現技法を理解している。 b:丸の組み合わせ方を工夫し、また丸をそのままの形で使うのではなく、丸から発想を広げて形を考え、みんなから愛されるキャラクターを生み出している。 c: 出来上がったキャラクターに、名前を付けたりコンセプトや設定を考えるなど、より魅力あるキャラクター作りをしようとしている。	練習課題 授業観察	作品	ワークシート
	【デザイン】	衣装デザイン 1　ファッションデザイン画の描き方の基礎を学ぶ。 2　文化祭の劇に使用することを想定した衣装のデザインを行う。 3　ファッションデザイン画コンクールに出品する。	a:ファッションデザイン画の基本的な描き方を学び、実際に作成する場合の素材、制作方法や手順をイメージしながら、具体性のあるデザインを考えている。 b:実際の文化祭の演目を想定して、役柄や舞台背景を具体的にイメージし、個性豊かな衣装を制作している。	ワークシート	デザイン画	

※令和４年度以降入学生用

2学期	【絵画】	ペンで描く （ゼンタングルアート） 1　黒い紙に白いペンを用いて、画面を模様で美しく埋め尽くす。 2　色鉛筆を使って着彩する。	a:黒い紙に白いペンで描くという目新しい体験とデザイン的な効果を感じながら、材料の特性を生かして模様を描いている。 b:模様のサンプルやオリジナルデザインの組み合わせ方に工夫を凝らすとともに、色鉛筆の表現技法である混色、グラデーション、ぼかしなどの技術をより高め、感性豊かに美しく仕上げようとしている。	作品 授業観察	作品	
	【陶芸】	オカリナを作るⅠ （形と歌口を作る） 1　陶芸用粘土を用いて、オカリナを制作する。 2　実際に音の出る歌口を制作する。	a:陶土による成形方法を学び、その中から手びねりの技法を用いて美しくて丈夫な形と音が出る歌口をひねり出している。 c:音の出る仕組みを理解し、自力で音が出せるまで試行錯誤して制作している。	作品		作品 授業観察
3学期	【陶芸】	オカリナを作るⅡ （音階を作る） オカリナに指穴を開けて音階を作る。 チューナーを使い、楽器として楽しめる作品に仕上げる。	a:音階ができる仕組みを理解し、美しいドレミが出せるように指孔を調整している。 c:音階ができる仕組みを理解し、自力で音階ができるまで試行錯誤して制作している。	作品		作品 授業観察
		オカリナで演奏する 完成したオカリナを使って合奏する	a:演奏することで、音階を正しく作ることができているか確認する。 c:自分で完成させたオカリナで演奏することを楽しむ。主体的に演奏に取り組む。	演奏のテスト		授業観察
	【工芸】	モザイクタイルの鍋敷き 1　モザイクタイルを使って鍋敷きの模様をデザインする。 2　西洋美術におけるモザイク芸術の鑑賞と、絵の具が発明される以前の絵画について学ぶ。	a:絵画史におけるモザイク芸術と絵の具の発明までの流れについて理解し、古代ローマのモザイク芸術の美しさを味わっている。 b:モザイクタイルの色の組み合わせによる美しさを味わい、工夫を凝らして美しい模様を表現している。	ワークシート 授業観察	作品	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度